

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名		伊万里市立南波多郷学館											
1 前年度 評価結果の概要		・南波多郷学館9年プランの【充実期】（開校4～6年）の最終年度である。 到達目標3：郷学館で学べば児童生徒の力が確実に伸びる・・・「南郷チャレンジ」「ラインズタイム」の取組を計画的に進めたり、授業において話し合う活動を取り入れたりすることで学力向上を図った。 到達目標4：郷学館に勤務すれば教職員の指導力が確実にアップする・・・ステージ経営の充実を図りながら同僚性を高め、共通理解と共通実践のもと学習指導や生徒指導において指導力を向上させた。 到達目標5：郷学館の教育活動が南波多の教育振興につながる・・・地域と学校の連携のもとに行われた様々な活動は広く認知され、地域と学校の双方にとって充実したものとなった。 ・働き方改革の推進については、組織としての取り組みの成果はあるとはいえず、今後は、業務改善に向けた意識の醸成や具体的な方策を更に講じながら、変革を進めていく必要がある。											
2 学校教育目標		「ふるさと南波多を愛し、夢・志をもつ児童生徒の育成」 ふるさとに学ぶ ふるさとを学ぶ ふるさとの人と共に歩む～											
3 本年度の重点目標		1 「夢」を語り・学び続ける郷学館 2 わたしたちの郷学館は、わたしたちが創る（自治的風土の醸成） 3 地域とともに創る郷学館 「コミュニティ・スクール」先進校 4 伊万里の「ひと」と「学校」をつなぐ											
4 重点取組内容・成果指標				中間評価				5 最終評価				主な担当者	
(1)共通評価項目													
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価					
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言				
●学力の向上	○児童生徒の主体的な学びの充実による思考力・判断力・表現力の向上	○学習アンケートの「自己決定力」の項目において、肯定的な回答をする児童生徒70％以上。	・授業の中で、児童生徒が自ら目標を立て、他者や条件に配慮しつつ解決していく活動を取り入れ、授業改善を図る。	・	・	・	・	・	・	・研究主任 ・学力向上対策コーディネーター			
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○アンケートにおいて、「命や思いやりの大切さについてしっかりと考えることができる」と回答する児童生徒90％以上	・教育活動の中で、ほめる（認める）機会を大切にし、児童生徒の自己肯定感を高める。 ・各学年の発達段階に応じた道徳科の授業、人権・同和教育「心のひろば」を実施し、児童生徒の人権意識を高める。	・	・	・	・	・	・	道徳教育推進教師 人権・同和教育担当者 各担任			
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等（いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事業対応等）について組織的対応ができていると回答した教員90％以上	・本校のいじめ防止対策基本方針をもとに、いじめの定義、認知、認知及び対応について共通理解を図り、全職員で対応する。 ・定期的に心のアンケートや教育相談を実施し、いじめの早期発見を行う。	・	・	・	・	・	・	生徒指導主事 各担任			
	●○児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒70％以上 ●○「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80％以上	・様々な教育活動で意図的に出番をつくり、役割を計画的に与え、活動に対して的確に承認していく。	・	・	・	・	・	・	各ステージリーダー 各担任			
●健康・体づくり	●運動習慣の改善や定着化	●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童（前期課程）60％以上、生徒（後期課程）80％以上	・ウォーキングチャレンジ週間を年2回実施する。 ・外遊びの道具を充実させる。 ・体育の授業や南郷マッチにおいて児童生徒が自主的な準備や計画を行えるように計画する。 ・チャレンジゾーンを健康委員会が作り、児童生徒が体力向上に関心をもてるようにする。 ・スポーツチャレンジを職員に周知する。	・	・	・	・	・	・	体育主任 体育副主任 各担任			
	○感染症予防教育の充実	○「手洗い・うがいの習慣がついている」と回答する児童生徒の割合が90％以上	・健康委員会による呼びかけやポスター作成の支援を行う。 ・発達段階に応じて保健指導を定期、日常的に行い、学期末のアンケートにて調査を行う。	・	・	・	・	・	・	養護教諭 保健主事			
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守	・毎週水曜日を定時退勤日とし、定時退勤を促す。 ・平日の部活動指導を週3回までとする。 ・業務内容を幅広い視点で見直すことで、分業内で効率的かつ協働的に業務が進められるようにする。	・	・	・	・	・	・	管理職（教頭）			
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目												主な担当者	
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価					
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言				
○自律的に判断し、活動するステージ経営	○ステージリーダーを中心とした各ステージ経営の充実	○教職員のステージ経営の充実及び満足度90％以上		・ステージ経営方針に沿って、OJTを核とした共通理解と実践を図る。 ・ステージに関わる全教職員でステージを経営していく意識を醸成するためにも、ステージ部会の充実を図る。	・	・	・	・	・	・	各ステージリーダー		
○コミュニティ・スクールとしての活動の深化	○コミュニティスクールとしての活動の周知や啓発	○保護者や地域におけるコミュニティスクールとしての活動内容の認知度80％以上		・周知と啓発を図るために、学校だよりや学校HP、コミュニティスクールだより等を通して積極的に情報を発信する。	・	・	・	・	・	・	管理職（副校長）		
○一人ひとりのニーズに応じた個別指導の充実	○特別支援教育の充実	○特別支援学級および通常学級において支援を要する児童生徒への指導・支援の充実が図られたと実感する教職員80％以上	・校内においてケース会議や児童生徒の見取りを行い支援する。 ・関係機関を招請しての職員研修を充実させ、「誰でもできる特別支援教育」を目指す。	・	・	・	・	・	・	特別支援教育コーディネーター			
●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育													
5 総合評価・ 次年度への展望		・ ・ ・											